

パリの植物園近く、鳥や蝶が壁に舞うホテルに泊 まろう。

PARIS DECO

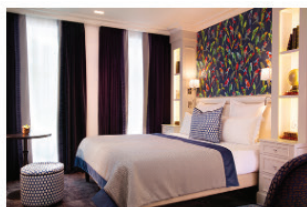
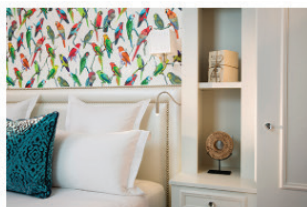
October 26, 2016

パリに新しくホテルがオープン、という、最近では右岸の9区や10区のポボ地区のことが多い。絶対にパリは左岸！ という人のために、チャーミングなプチ・ホテルをたくさんの写真とともに紹介しよう。

場所は5区。パリの19世紀のブルジョワの家と、近くの植物園（ジャルダン・デ・プラント）からのインスピレーションをミックスした内装でまとめられたオテル・モンジュだ。ホテルの30室には、蝶々の壁紙、オウムの壁紙が使われていてロマンティックな雰囲気漂う。ファブリックや家具などはどれもソフトで、自宅のような寛ぎが感じられる。小さいながらスパとハمامもあるので、外に出ないでホテルでのんびりとした時間を過ごすのもいいだろう。でも、近くのモンジュ広場には、水・金・日曜に朝市がたつので逃さないように。



蝶の間。壁紙のモチーフのベースカラーがダークなタイプ、明るいタイプがあり、雰囲気が異なる。



オウムの間。こちらも同様な。壁紙は動物の剥製でおなじみDeyrolle（デイロール/ 46, rue du Bac, 75007）のもの。



BRAND SPECIAL



アマゾン ファッションが提案するトーキョースタイル。

promotion



交差する、セリーヌ・ウーマンたち。

promotion



春夏コーディネートにスパイスを添えるおしゃれヒント。

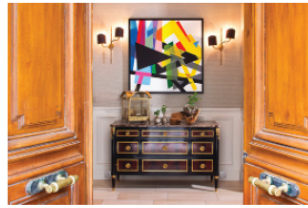


左：バスルームはどの部屋も明るい色のタイルでシンプルにまとめられている。アメニティはロクシタン。

右：ドアにかけるドンデイスカードにも鳥！



宿泊客だけが寛げるサロンスペース。日中はティールームとして、夕方6時から12時まではシャンパンやワインをセルフサービスで楽しめるオネスティ・バーとして活用できる。



ホテルの廊下などパブリックスペースも、インテリアのインスピレーションは動植物だ。



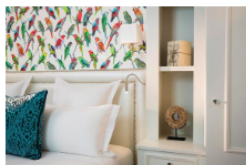
左：事前予約が必要だが、パリジェンヌが愛用するブランドDecléorのフェイシャルケアやボディマッサージを受けられる。

右：地下にはハمامもあり、ここは貸切使用が可能だ。



左：藤のビストロチェアを並べた、カジュアル・シックなブレイクファースト・ルーム。ビュッフェスタイルで、ノーグルテンの品も用意されている。

右：ホテルはモンジュ通りに面している。1876年の建築物で、建物の後方はアレヌ・ドゥ・リュテス（紀元1世紀に作られた円形闘技場の遺跡）に隣接。ホテルのエレベーターで上下するときに、眺められる。



この記事が気に入ったらいいね！しよう

madame FIGARO.jpの最新ニュースをお届けします



フォロー



フォロー

LINE

友達になる



メッセージ



コーチ「ディンキー」が魅せる4つのパラレルワールド。

promotion



My Home, My Lifeで見つける、自分らしい暮らし方。

promotion

BRAND NEWS



ギフトボックス入りフランチャコルタを計6名様に。



計4名様に#LOVE PARIS なアイテムをプレゼント！